

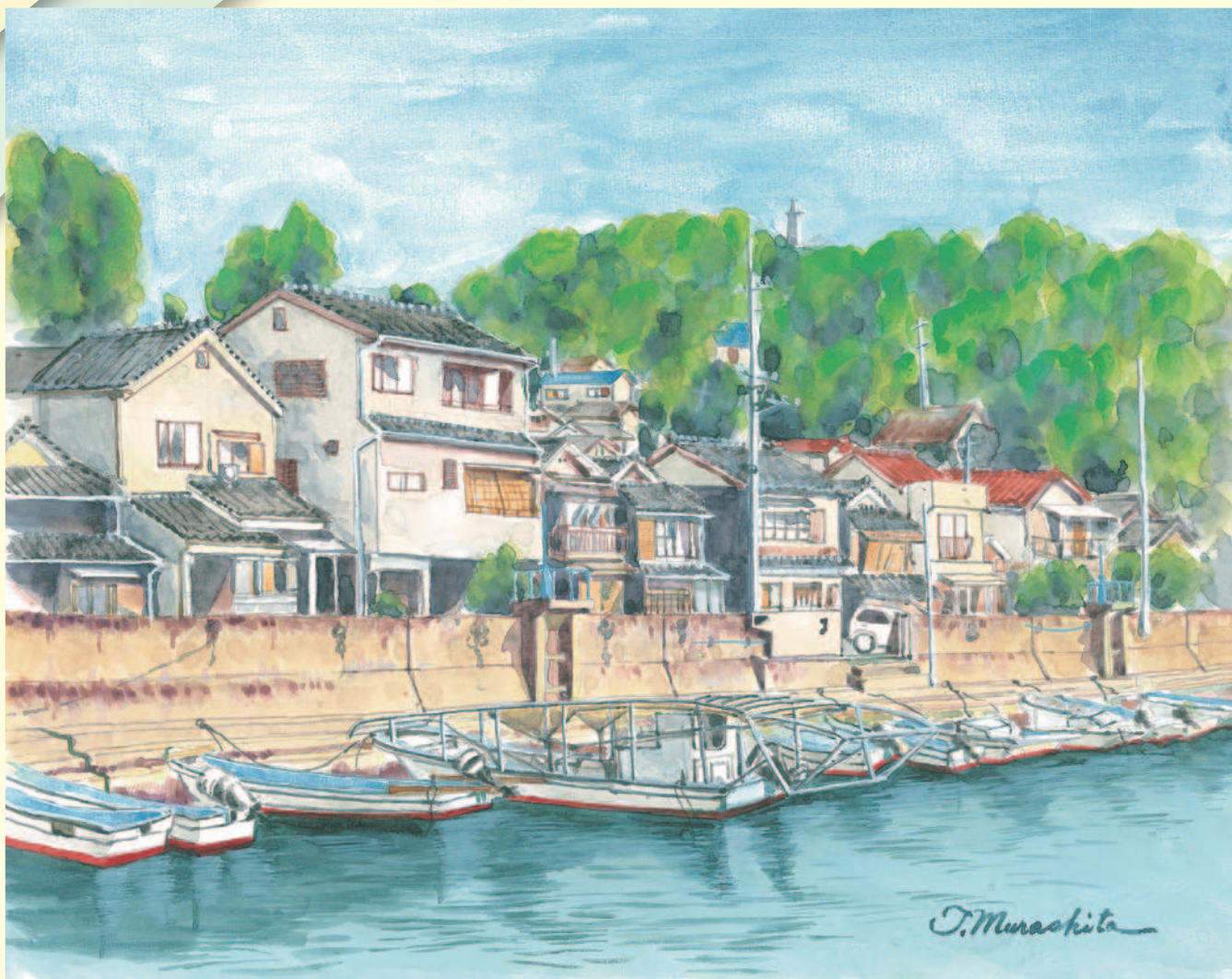
ふれあいネットワーク

臨時特集号

No.13

社協だより

2012年11月



「川端丁の町並」 村下 龍彦さん(正保橋町)

「社協」って
なんだろう？

「社協」は社会福祉法第109条に「地域福祉の推進役」として、位置づけられ全国・都道府県・市町村に設置されている、社会福祉法人です。正式には社会福祉協議会です。誰もが安心して暮らすことのできる、福祉のまちづくりのために、「地域にはどんな課題があるのか」「その課題を解決するには、どうしたらよいか」を考えながら、地域のみなさんと活動を進めている民間団体です。「社協」の活動の源は、「住民のみなさんの声(意見)」です…「社協って、どんなところ？」「具体的になにをしているの？」とお思の方、さあ次の扉を開いてください。

「社協」は社協のマーク 昭和47年全国社会福祉協議会が、社会福祉と社協の「社」を図案化。「手をとりあって、明るい幸せな社会を建設する姿を、表現しています」

パートナーサービスモデル事業

～ちよっととした地域の助け合い活動～

現在、市内8自治会をモデル指定し、パートナーサービスモデル事業を実施しています。(堀屋東、上飯屋、元緑橋町、宮原、本水尾、寺三、駅東、正保橋町)今回は臨時特集号7月号に引き続き4自治会の活動を紹介します!

パートナーサービスモデル事業とは??

地域の誰もが生活の中であちよっとした困りごとを抱えています。それを近隣住民でカバーし合い、相互にたすけあえるパートナーサービスのシステムを作ることが目的としています。詳しくは、社協までお問い合わせください。

☆本水尾自治会☆

今年4月に新規登録し、研修を行っています。9月15日(土)に行われた研修では、「身近なところから福祉活動を考えよう」をテーマに、社協の事業や介護保険制度の研修会等を行いました。参加された方からは、「住民自らが情報収集を行い、相互の情報交換の場が必要」等の意見が出されました。さあ、これから本格始動です!



☆駅東自治会☆

平成23年12月から始動し、研修を重ねています。福祉マップ作り等を通して、自治会内での人と人とのつながりが希薄になり、隣人の顔も分からなくなってきたことに気づき、「助け合いの仕組み作り」をテーマに活動しています。



新しいメンバーも随時加わり、少しずつ助け合いの輪が広がってきています。

☆寺三自治会☆

今年4月に新規登録し、研修を行っています。福祉研修会、疑似マップ・福祉マップ作りを行い、現在は活動計画を検討・作成中です。

地域では、交流の深いところとそうでないところがあり、どのようなように改善していくのが課題となっています。



代表の石崎さんを中心に、研修を重ねていきます!

☆正保橋町自治会☆

平成23年12月に発足し、研修を重ねています。

小地域福祉研修・疑似マップ・福祉マップ作りを通して、地域住民が高齢化し、1人～2人世帯が増加している現状を把握・共有しています。



今後研修を重ね、組織作りを進めていく予定です。

ひとり暮らし老人等事業における対象者年齢が引き上げになります!!

現在、各地区において「ひとり暮らし老人」は70歳以上、「高齢者世帯等」は75歳以上の方々へ給食サービス事業等を実施していますが、対象者層に伴い、対象年齢が今年度より繰り上げになります。

平成24年12月31日を基準日として対象者の年齢を1年ごとに繰り上げ、平成29年度以降には「ひとり暮らし老人」は75歳以上、「高齢者世帯等」は80歳以上の方が対象者となります。

※詳しくは社協までお問い合わせください。



- 対象となる事業
- ・給食サービス事業
- ・友愛訪問事業
- ・歳末たすけあい
- ・「三世交代もちつき大会」
- ・歳末たすけあい
- 「友愛訪問事業」

小地域福祉活動 住民研修会

社協では地域に伺い、小地域福祉活動住民研修会を開催しています。自治会・団体ごと等で地域福祉の現状や、共同募金、介護保険事業等の社協の事業について詳しく説明させていただきます。今回は3つの自治会の活動を写真で紹介いたします。研修会の開催を希望される自治会や団体の皆さん、気軽に社協までお問い合わせください。

9月5日 御崎1区自治会

地域で交え合いの体制づくりに向けて、地域の現状を話し合いました。



9月24日 新町自治会

疑似マップ・福祉マップとは?? (疑似マップ) 仮想地域の地図(疑似マップ)を使い、福祉マップ作りへ向けた演習を行います。(福祉マップ) 実際の地域内の地図を使用し、地域内で支援が必要と思われる世帯(ひとり暮らし老人・家族と同居している世帯)を把握し、情報を共有するために作成します。



5つのグループに分かれて疑似マップを作成しました!



9月22日 御崎2区自治会

見守り体制の必要性を確認し、今後の活動へつなげていきます。



初級手話講座終了!

10月6日(土)に10回シリーズで実施していた初級手話講座が終了しました。

赤穂市ろうあ協会の中村千穂さんを講師に、19名の受講生で講座が進められ、8名の方に修了証書が授与されました。

手話のスキルそのものだけでなく、ろうあ者の生活での困りごとや、手話通訳士の役割等について当事者からのお話を伺うことができ、まずは相手に「伝えたい」「伝えよう」という気持ちが大切であるということを学びました。

今回の講座を通じ、受講生の中からは「もっと手話を勉強し、手話通訳士の資格取得を目指したい」との声があがっています。ボランティアセンターでは、ボランティア活動へのきっかけ、現在おこなっている活動のスキルアップのための講座を実施しています。

広報でも随時掲載しますので、興味を持たれた方は是非参加してみてください!



講師の中村千穂氏



受講生で手話を覚えました!

介護者の会 研修旅行へ!



あいにくの雨模様となった10月29日、介護者の会の皆さんが淡路へ研修旅行に行きました。

研修先として北淡震災記念公園へ行きました。語り部ボランティアの方から震災に備えての家具の配置の注意点を教えていただき、「自分たちの家も確認しなければ!」と意識をさすきっかけとなりました。

また、避難する時に持ち出すものとしてオムツ等の物品が必要となるため、チェックリストを作ってみようとの介護者ならでの提案もありました。

午後からは淡路人形座へ。人形浄瑠璃の鑑賞に行きました。

100年程前に作られた人形を使っての伝統芸能に皆さん感動されていました。

介護の疲れから少し解放され、良いリフレッシュとなった1日でした。



語り部よりお話を伺います

赤穂市ねたきり・認知症・重度障がい者の介護者の会とは?

「赤穂市ねたきり・認知症・重度障がい者の介護者の会(介護者の会)」は、平成5年に結成され、現在は107名の会員で構成されています。

介護者の会は、介護者同士で集まり、悩みを相談し合ったり、行事に参加してリフレッシュをすることを目的として、結成されました。

現在は定期的に福祉会館で例会を開催し、「介護に役立つ料理教室」や、年末の「新年の寄せ植え」が恒例になっています。その他にもオムツ等の介護用品の共同購入なども行っています。

一度介護者の会へ遊びに来てみませんか?詳しくは事務局(社会福祉協議会)まで。



通院等でお困りの方!

～移送サービス事業をご存知ですか??～

社協では、日常生活において車いすを必要とする障がい者や、要介護高齢者の外出(通院など)を援助する活動を行っています。

車いす・ストレッチャーのまま乗車できるリフト付車両を使用し、研修を受けたボランティアが活動を行っています。

詳しくは社協までお問い合わせください。

実施日	月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時15分 (祝日・日曜・年末年始は休み)
利用料金	1回 往復1,000円 (片道だけの利用でも同額)
利用条件	赤穂市内在住の方で、家族(介護者)1名同乗できる方 日常生活において常時車いすを利用されている方
実施主体	赤穂市社会福祉協議会
協力団体	ボランティアグループ「てんとうむし」

利用開始!

利用日の1週間前までに社協へ予約



(利用までの流れ)

- ① 移送サービス利用申込書を提出する
- ② 担当職員が自宅へ訪問し、状態の確認、事業の詳しい説明を行います
- ③ 利用が許可されると、利用決定通知書を郵送します



在宅重度心身障がい者(児) 激励事業 京都 東映太秦映画村の旅! 行ってきました

心配していた台風も逸れ、さわやかな晴天に恵まれた10月19日(金)、20名の参加者の皆さんとボランティア、看護師合わせて27名が集い、リフト付き大型バスに乗って秋の京都 太秦へ行ってきました。

映画村では、大勢の修学旅行生のにぎわいを感じながら、ドラマ撮影風景やショーを見たり、セットを見学したりと思いのひとときを過ごしました。帰りの車中では、映画村での疲れもなんのその、カオオケで盛り上がりました。体調を崩される方もなく、全員で一日の旅を楽しみました。この旅行をサポートして下さったボランティア、看護師のみなさん、ご協力ありがとうございました。



「あここう傾聴の会」

ボランティアセンター新団体登録

昨年10月27日、社協の傾聴ボランティア養成講座を受講した有志が集い、傾聴ボランティア「あここう傾聴の会」が結成されました。

そのあここう傾聴の会が、11月1日付で赤穂市ボランティアセンターへ登録されました。勝原建夫会長を中心に独自に研修を重ねながら、人の悩みに寄り添いお話を聞かせていただく、そんな活動を通して社会に役立つグループとして活動を広げられています。

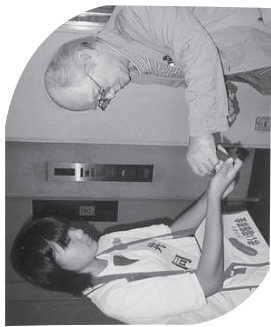
これから活躍に期待しています。あここう傾聴の会へのご依頼・ご相談はボランティアセンターまで。



手から手へやさしさのおくりもの!

赤い羽根共同募金に児童・生徒・学生が協力

ありがとうの笑顔に子どもから大人まで種々な人の輪がひろがりました。



赤穂中学校 (JR 播州赤穂駅)



赤穂西中学校 (主婦の店塩屋店)



赤穂東中学校 (主婦の店尾崎店)



坂越中学校 (JR 坂越駅)



有年中学校 (ファミリーマート)



赤穂高校 (JR 播州赤穂駅)



関西福祉大学 (イオン赤穂店)



共同募金委員 (イオン赤穂店)



ボーイスカウト (イオン赤穂店)



ボランティア協会 (イオン赤穂店)



民生委員 (ラ・ムー赤穂店)



介護者の会 (主婦の店赤穂店)



赤穂小学校 (主婦の店赤穂店)



赤穂小学校 (イオン赤穂店)



塩屋小学校 (主婦の店赤穂店)



城西小学校 (ラ・ムー赤穂店)



赤穂西小学校 (JR 天和駅)



尾崎小学校 (主婦の店尾崎店)



御崎小学校 (主婦の店尾崎店)



坂越小学校 (JR 坂越駅)



高雄小学校 (JR 坂越駅)



有年小学校 (JR 有年駅)



原小学校 (有年ふるさとまつり)



高雄小学校 (高雄ふるさとまつり)



てんとうむし (イオン赤穂店)



社協職員 (イオン赤穂店)

延 531 人の奉仕者
 総額 574,924 円
 街頭募金があつまりました。ご協力ありがとうございました。

ボランティア活動福祉協力校活動紹介!

尾崎小学校・御崎小学校・原小学校キヤップハンデー(体験学習)の活動を紹介します。



社会福祉協議会より、赤い羽根共同募金の配分金を活用して小学校10校・中学校3校・高等学校1校、16校を主として指定して児童・生徒にさまざまな精神に養育の機会をもち、そのことを学んでいただくために福祉協力校活動を支援してまいります。

尾崎小学校 4年生 75名

目の不自由な人の生活を知る

盲導犬との生活を知る 9月18日



盲導犬との生活について
清水さん・根来さん
盲導犬トゥルー
ホーミー

アイマスク体験 9月25日



中途失明の生活について三宅さんからのお話。
アイマスクをつけてブラインドウォーク体験をし、保護者も一緒に盲人用信号まで歩きました。



点字体験

10月16日

点字の読み方
打ち方を学ぶ
点灯会



トゥルーは
老齢のため
このたび盲導犬を
引退しました。
お疲れさまでした!

御崎小学校

車イス体験 10月11日(6年生62名)



車イス生活の枝川さんから車イスでの困ることクイズが出題されました。
車イスにお友達を乗せて道路を歩き、スロープ・自動ドア・エレベーター・エスカレーター等弱い人にあわせて街づくりはみんなにも便利なことを学びました。

アイマスク体験 10月11日(4年生70名)



中途失明の三宅さんから目が見えない人への心くばりを学びました。

相互の
信頼関係が
大切ですよ!

9月26日

手話体験 1~3年生 163名
点字体験 4年生 70名

原小学校



車イス体験 (6年生8名)

枝川さんから夢についてのお話。
お友達を車イスに乗せて介助の練習。
キヤッチボールしてもらいました!



アイマスク体験

10月11日(5年生15名)

三宅さんの目が見えないことで困ることのお話。アイマスクをつけて有年連跡までブラインドウォーク体験をしました。

手話体験 10月11日(1~2年生15名)



点字体験

9月21日

3年生~4年生 16名

手話で歌をうたいました。

高齢者疑似体験 10月12日(5年生48名)



2~3人一組になって高齢者疑似体験セットを体に装着して、校内の階段の昇り降りや、徒行体験をしました。
老人になること、半身マヒの障がい者になるとどうなるかを体験し、「困っている人を助けようと思った!」等の感想が出ました。

みなさん、熱心に話を聞いていました。



サロン紹介

今年5月発足

～大橋町老年クラブ～

大橋町集会所で毎月開催されるサロンの特徴は、会員を3つのグループに分けていることです。

それぞれのグループが得意分野で力を発揮し、みんなでお食事・健康体操・輪投げ等を実施しています。

会員の顔触れは、地域老年クラブのベテランが揃っており、息もぴったり活動されています。

5回目となる今回はお食事会です。朝5時から準備をされていたようで、予定の9時半には沢山の料理がテーブルに並べられました。

サロンの開始時間の11時半には、約30名の会員が集まり、代表の金須さんの挨拶でサロンが始まりました。

その後はお互いの最近の出来事等の話題が尽きません。あつという間に予定の時間も過ぎ、「来月もまたね」と約束が交わされ、解散しました。

(広報委員 西側)



挨拶される金須さん



みんなでお乾杯!

こちらから今年5月発足

～さくら会～

さくら通り自治会主体のサロンが発足したので今回お話をしました。

しゃべって、運動して、やる気を出そう!と、住民の1人である、東内さんが提案され、実現したとのこと。

10月9日(火)は、秋晴れの夕下で9時半からグラウンドゴルフが公園で行われ、52歳～75歳の男女16名が参加されました。

皆さんなかなかの腕前で、「入った!」「惜しい!」と歓声が沸き、なんとホールインワンまで飛び出しました。

運動中に公園の脇を電車が通り、乗客の方にも元気を与えているのかな、と思う光景でした。

第4火曜日は自治会館内で「おしゃべりの会」、第4木曜日には「童謡の会」を企画され、9月の敬老会の時も、小学生が参加して一緒に歌を歌い、大変好評だったようです。元気はつらつ!のさくら会でした。

(広報委員 多田)



グラウンドゴルフ白熱しました!



さくら会の皆さん

あなたも参加してみませんか? ふれあい・いきいきサロン

あなたの地域には、ひとり暮らしや家に閉じこもりがちになっている人はいませんか?

認知症やねたぎりの家族を抱えて介護に疲れている人はいませんか? 核家族で相談する人もなく、子育てで悩んでいる人はいませんか?

「ふれあい・いきいきサロン」とは、こうした人たちが気軽に近くの集会所等に集まり、楽しく過ごす場を地域の方々と企画・運営をしていく活動です。

現在、市内32ヶ所でサロンが実施されています。サロンについての詳しい内容は、社協までお問い合わせください。



関西福祉大学 社会福祉学部

4回生 木田 知奈美さん

赤穂市社会福祉協議会で1ヶ月間社会福祉実習をさせていただきました。

この1ヶ月間で地域福祉推進計画策定のための地区別懇談会や福祉サービス利用援助事業の対象者訪問、ひとり暮らし老人のひまわりの会への参加、キヤップハンディ学習等、様々な事業で実習をし、大学で学んできた知識を深めることができました。

それら福祉サービスの財源になっているのが赤い羽根共同募金です。街頭募金に参加し、足を止めて笑顔で募金をしてくださる市民の方々と接し、地域の温かさを感じることができました。

今回の実習を通して、改めて福祉の現場で働きたいという想いが強くなりました。

1ヶ月間お世話になりました。



関西福祉大学 社会福祉学部

3回生 神原 悠平さん

社会福祉協議会での1ヶ月間の実習の中で、私は多くのものを学びました。

パートナードサービスの研修会や地域福祉推進計画の地区別懇談会に参加し、住民の方から現在抱えている問題等を聞くことができ、それをグループワークの中で集約していくことの難しさを知ることができました。これは、大学の講義では学ぶことのできない経験であると思います。

また、赤い羽根共同募金に準備作業から関わり、大変さを感じると共に、地域の方々に支えられていることを学びました。

今回の実習を機会に、今後も地域福祉についての理解を深めていきたいと思っています。

ご指導いただいた住民、社協の皆さん、ありがとうございました。



地域の皆さん、お世話になりました!

関西福祉大学実習生 滞在記

社会福祉士を目指す学生4名が、8月27日～10月9日の間、赤穂市社協で社会福祉実習を行いました。

関西福祉大学 社会福祉学部

4回生 山下 拓人さん

赤穂市社会福祉協議会で1ヶ月間社会福祉実習をさせていただきました。

赤い羽根共同募金の準備や街頭募金に参加させていただき、募金活動を行うまでの大変さを感じ、共同募金は地域の様々な人たちの支えによって成り立っていることがわかりました。

他にも社協の事業の移送サービス事業や小地域福祉活動の住民懇談会や研修会にも参加させていただき、地域の方がどのような想いの中で生活しているのかを知ることができ、とても貴重な体験をすることができました。

実習を通して、社会福祉協議会は住民により近い存在であると感じることができ、地域福祉の発展のためにも、とても重要な存在であることがわかりました。

実習中に関わってくれた住民の皆さん、ボランティアの方々本当にありがとうございました。



関西福祉大学 社会福祉学部

3回生 清水 ひかりさん

赤穂市社会福祉協議会で1ヶ月間社会福祉実習をさせていただきました。

実習期間中は赤い羽根共同募金の準備期間であったので、共同募金を通じて地域の方々と関わることができました。

また、共同募金で集められた募金が、広報事業、移送サービス、福祉教育等、先駆的な事業の運営に活用されており、赤穂市の地域福祉の発展を支えていることがわかりました。

まだまだ理解できていない部分が多いとは思いますが、今回の実習で学んだことを今後に繋げ、大学で学んでいきたいと思っています。



登録ヘルパー募集

あなたの力を活かしませんか?

社会福祉協議会では高齢者や障がい者の方々が住み慣れた地域で安心して生活をすることを支援するため、ホームヘルプサービスを実施しています。あなたの力をホームヘルプサービスに活かしませんか?

- ◆資格 ホームヘルパー2級以上、若しくは介護福祉士、若しくはガイドヘルパー
- ◆募集人員 若干名
- ◆その他 本人所有のバイク、自動車での活動できる人
- ◆問合せ 社協訪問介護事業所まで
TEL.45-3073



勤務時間・賃金など詳細は気軽にお問い合わせください。

心配ごと相談所のご案内

心配ごと相談所は、日常生活で困っていること、悩んでいることについて誰でも相談できる場所です。相談員はその方の立場に立って一緒に考えます。相談内容が外部に漏れることは一切ありません。なお、費用は無料となっておりますので、まずは社協までお問合せください。

(通常相談日)

【一般相談】

毎週水曜日 午後1時～5時(第3水曜日を除く)

【弁護士相談】※

第3木曜日 午前8時30分～12時(要予約)

【カウンセラーによるこころの相談】※

第1・4水曜日 午後1時～5時(要予約)

※弁護士相談・こころの相談は予約が必要です。

ご注意ください。

皆さまのやさしさと 温かい善意を『善意銀行』へ

赤穂市善意銀行では、社会のため・人のために尽くしたいという人々から寄せられた善意をお預かりしています。

善意銀行の預託金は、さまざまな福祉活動に姿を変え、還元されます。

皆さまのご協力をお待ちしています。



ぜんい君

こころちゃん

赤穂市善意銀行マスコットキャラクター

社協カレンダー (11月11日～12月31日)

11月

- 11日(日) しあわせフェスティバル
～フクシふれあいまつり～(9時～16時)
- 12日(月) 福祉教育体験学習(点字:塩屋小学校)
- 13日(火) 初級点字講座⑥(10時～12時)
- 14日(水) 心配ごと相談(13時～17時)
- 15日(木) 心配ごと相談・弁護士相談(9時～12時)
- 16日(金) 福祉教育体験学習(車いす:高雄小学校)
- 17日(土) 給食サービス(9時～13時)
- 18日(日) 塩屋東パートナーサロン会議(19時～)
- 20日(火) 初級点字講座⑦(10時～12時)
- 21日(水) 音楽ボランティア養成講座①(13時30分～15時30分)
ひまわりの会お誕生日会(10時～14時)
- 24日(土) おもちゃ病院(13時～15時)
おもちゃライブラリー(13時30分～15時30分)
- 27日(火) 初級点字講座⑧(10時～12時)
- 28日(水) 心配ごと相談・こころの相談(13時～17時)
共同募金委員会(10時～)
歳末たすけあい三世代交流もちつき大会打合せ(11時10分～)
歳末たすけあい友愛訪問打合せ(11時40分～)

12月

- 歳末たすけあい運動(12/1～12/20)
- 2日(日) 小地域福祉研修会(東之町自治会:9時30分～)
- 5日(水) 早かごセミナー(関西福祉大学:11時～12時)
心配ごと相談・こころの相談(13時～17時)
音楽ボランティア養成講座②(13時30分～15時30分)
- 8日(土) 障がい者週間 ともに考える市民のつどい(13時30分～16時)
- 12日(水) 心配ごと相談(13時～17時)
- 13日(木) おもちゃ病院(10時～11時)
おもちゃライブラリー(10時～12時)
音楽ボランティア養成講座③(13時30分～15時30分)
- 15日(土) 給食サービス(9時～13時)
- 16日(日) 三世代交流もちつき大会(12/16～12/24)
- 20日(木) 心配ごと相談・弁護士相談(9時～12時)
- 22日(土) おもちゃ病院(13時～15時)
おもちゃライブラリー(13時30分～15時30分)
- 26日(水) 心配ごと相談・こころの相談(13時～17時)

『ストップ・ザ・無縁社会』 全県キャンペーン展開中!

～『無縁社会』から『支え合い社会』へ～

※赤穂市社協は、兵庫県内の社協とともに、
『支え合い社会』を目指します。



表紙の絵「川端丁の町並」

広報委員長 村下龍彦さん(正保橋町)の作品です。赤穂東浜塩業跡地からのスケッチで、この場所からは昭和38年3月30日に景勝の赤穂御崎の頂上に点灯された、赤穂御崎灯台も見るができます。

編集後記

臨時特集号 No.13 の発行です。

今回 11 ページに掲載している実習生は私の後輩にあたります。

私も大学3年生の時に実習に行き、毎日が緊張だったことを思い出しました。

1ヶ月間お疲れさまでした。

臨時特集号は No.14 は 2月に発行予定です。

地域の情報盛りだくさんでお届けします。

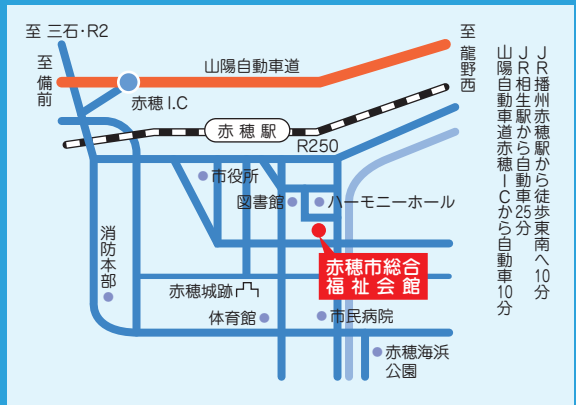
(広報委員会事務局 荒尾)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会
〒678-0232 赤穂市中広 267 番地

電話 0791-42-1397

FAX 0791-45-2444



ホームページも是非ご覧ください!

<http://ako-shakyo.jp/>